

もうまくどうみやくへいそくしょう

網膜動脈閉塞症

【網膜動脈閉塞症とは．．．】

網膜の動脈がつまる病気です。その動脈が栄養している部分の網膜には血液が全くながれなくなって死んでしまい、その部分は光さえ感じなくなります。

症状は、つまる動脈の位置によってちがいます。たとえば、動脈の根元でつまると、すべての網膜が死んでしまいますから全く見えなくなります。中心部へいつている動脈がつまると物を見ようとする中心が見えなくなります。上の方の動脈がつまると、下の方が見えなくなります。

【原因は？】

心臓や頸動脈に硬化した部分があって、そこからちぎれた物質が、血液にのって運ばれてきて網膜の動脈でつまる場合があります。

高血圧や、糖尿病などの成人病疾患が背景にあることが多いとされています。しかし、原因が分からないことのほうが多いようです。

【治療】

血栓を溶かす薬の点滴、眼圧を下げる薬の点眼と内服を行います。

【経過】

血流がとだえると、網膜は約2時間で死んで回復しなくなりますから、たいていの場合には手遅れで視力は回復しません。

日帰り白内障手術施設

眼科 中橋クリニック



7 5 2 - 8 8 1 8